

令和8年度「近いがうまい埼玉産」地産地消推進会議議事録

- 1 日 時 令和8年7月17日（金）10時30分～11時30分
- 2 方 法 オンライン開催
- 3 出席者 別添のとおり
- 4 概 要

（1）開 会

（2）あいさつ（竹詰農林部長）

- ・ 11月7日から10日まで本県で開催する全国健康福祉祭（ねんりんピック）にて農林部として県産農産物や加工品のPRに取り組むことを表明
- ・ いちごや梨が全国の選手権で高評価を獲得していること等、埼玉県農業に関する明るいニュースを紹介
- ・ 11月の「地産地消月間」における様々な取組について協力を依頼

（3）議 事

「近いがうまい埼玉産」地産地消推進会議設置運営要領第4条1項に基づき、会長である竹詰農林部長が議長に就任

ア 令和7年度県域及び地域における取組について

資料1に基づき、県域における取組について川嶋農業ビジネス支援課長から説明

資料2に基づき、地域における取組について川嶋農業ビジネス支援課長から説明

イ 各団体の取組について

資料3に基づき、各団体における取組及び計画について各団体の出席者から説明

令和7年度の取組

【埼玉県消費者団体連絡会】

- ・ 第61回埼玉県消費者大会プレ学習会の開催
- ・ 埼玉県食品衛生安全局と消費者団体の懇談会の開催
- ・ 「日本の食料・安全保障について」をテーマに関東農政局との意見交換会の開催

【さいたま市消費者団体連絡会】

- ・ 消費生活展や消費者フォーラムでの食に関する展示の実施

【埼玉県地域婦人会連合会】

- ・ 埼玉県米消費拡大推進協議会事業への協力
- ・ 歯舞産の早煮昆布を使った料理教室を開催

【新日本婦人の会埼玉県本部】

- ・ 「食べて、学んで、美しく」をスローガンに年間にわたり30余の多様な取組

を展開

- ・生産者との田植えや稲刈り体験、バスツアー、大豆トラスト運動での味噌づくりの実施
- ・食糧問題について2回の学習会を実施

【公益社団法人埼玉県栄養士会】

- ・市民健康栄養講座（講話、骨密度測定、栄養・食生活相談）の実施
- ・埼玉県米消費拡大推進協議会事業への協力
- ・彩の国米まつりにおいて食生活相談・骨密度測定

【全国農業協同組合連合会埼玉県本部】

- ・各種キャンペーン協議会等と連携し、メディアを通じた県産農産物のPR
- ・調味料メーカーとのメニュー共同開発、販促資材等の作成およびPR活動
- ・太田市場でのPRイベントの実施

【埼玉県森林組合連合会】

- ・県産木材認証センターの運営
- ・合法木材製品の利用促進
- ・第75回全国植樹祭2025埼玉への参加、出展

【一般社団法人埼玉県青果市場連合会】

- ・会報誌への資料掲載と取組に向けたPR
- ・県産青果物の販売促進として、「行田在来えだまめ」の県内流通の促進
- ・県産青果物の販売促進として、「埼玉県産ピノガール」を新たに育成品目とするための諸準備

【公益財団法人埼玉県学校給食会】

- ・バター・植物性生クリームを乳成分不使用のものに変更した学校給食用パンの開発
- ・学校給食への県産農畜物導入の推進（彩の国豚豚まんじゅう等）
- ・関連団体と連携し、児童生徒向け埼玉県産農産物啓発ポスターの作成

【埼玉県商工会連合会】

- ・商工会や商工業者による県内農産物を活用した特産品開発や販路開拓の支援
- ・池袋サンシャインシティで開催される全国物産展において、特産品開発業者の出展を支援
- ・全国商工会連合会が推奨・提携している各種食品フェアに会員事業者の出展を支援

【一般社団法人埼玉県食品衛生協会】

- ・食中毒予防キャンペーンや衛生講習会の食中毒予防の啓発
- ・食品衛生責任者資格者養成講習会等の食品衛生に関する各種講習会の開催
- ・食品衛生指導員による施設の巡回指導

令和8年度の取組計画

【埼玉県消費者団体連絡会】

- ・埼玉県食品衛生安全局と消費者団体の懇談会開催予定

【さいたま市消費者団体連絡会】

- ・消費生活展や消費者フォーラムの開催

【埼玉県地域婦人会連合会】

- ・埼玉県米消費拡大推進協議会事業への協力

【新日本婦人の会埼玉県本部】

- ・田植えや稲刈りの農作業体験の継続した実施
- ・埼玉県産米の消費拡大に関する学習会の実施
- ・「産直ツアー」の実施検討

【公益社団法人埼玉県栄養士会】

- ・ねりんピック彩の国さいたま2026弁当部会参加
- ・食育を目的とした、子ども食堂の運営
- ・市民健康栄養講座（講話、骨密度測定、栄養・食生活相談）の実施

【全国農業協同組合連合会埼玉県本部】

- ・各種キャンペーン協議会等と連携し、メディアを通じた県産農産物のPR
- ・大田市場でのPRイベントの実施
- ・えみほころのPR活動の実施

【埼玉県森林組合連合会】

- ・彩の国食と農林業の祭典の開催及び出展
- ・県産木材のPR活動
- ・県産木材認証センターの運営

【一般社団法人埼玉県青果市場連合会】

- ・ピノガールの販売促進
- ・県事業との協働
- ・県産青果物全般の取高の向上

【公益財団法人埼玉県学校給食会】

- ・令和7年度と同様の取組を実施。

【埼玉県商工会連合会】

- ・令和7年度と同様の取組を実施

【一般社団法人埼玉県食品衛生協会】

- ・令和7年度と同様の取組を実施。

ウ 令和8年度県域における地産地消運動の取組方向（案）について

- ・資料4に基づき、川嶋農業ビジネス支援課長から説明

エ 質疑応答

Q 昨年度は米が買えない時期もあったが、今年度の米の出来はいかがか。

「委員（埼玉県消費者団体連絡会）」

A 生育については比較的順調である。一昨年度はカメムシや高温障害で被害を受けたが、昨年度はカメムシ等を広域防除で抑えることができた。高温障害については今年度も影響が懸念されるが、引き続き各地で生産者が品質の維持向上対策に努めている。「委員（全国農業協同組合連合会埼玉県本部）」

Q えみほころ、彩のきずな、彩のかがやきの生産量はどうなっているのか。

また、その生産割合はいかがか。「委員（埼玉県消費者団体連絡会）」

A 高温耐性のある新品種「えみほころ」については徐々に作付けが増えていく。生産者も高温に強い品種（彩のきずな等）に移行する傾向がある。

「委員（全国農業協同組合連合会埼玉県本部）」

Q ブロッコリーが国の指定野菜になり何か県内で変化はあるのか。

「委員（埼玉県消費者団体連絡会）」

A 指定野菜になり、消費拡大につながるきっかけとなった。また、生産者や産地での機運の高まりや、作付けの意欲向上が見られる。非常に注目されているので積極的にPR活動をしていきたい。

「委員（全国農業協同組合連合会埼玉県本部）」

Q 県産農産物コーナーについては毎年増加傾向にあるが、地図があると良いと思う。こちらの地図をもらえないか。「委員（埼玉県消費者団体連絡会）」

A 前向きに検討させていただきたい。「県（農業ビジネス支援課）」

Q 新たに農業の6次産業化により開発された商品が多くなっているが、例えば県外にお土産の持っていきたいような場合もあるかと思う。こちらの一覧をもらえないか。「委員（埼玉県消費者団体連絡会）」

A 前向きに検討させていただきたい。「県（農業ビジネス支援課）」

Q 地元の郷土料理については作る人が減っているように感じる。こういった食文化の継承については力を入れて取り組んでほしい。

「委員（埼玉県消費者団体連絡会）」

A ふるさとの味伝承士については県のHPでのレシピ公開をはじめ、各地域で活動に取り組んでいる。引き続き取組を支援したい。「県（農業支援課）」

Q 自宅の梅の木などがクビアカツヤカミキリによって枯れてしまった。病害虫も広がっており不安で心配している。虫について保管しているが、どのように対応したらよいか。「委員（埼玉県消費者団体連絡会）」

A 対応を確認後、担当から後日回答する。「県（農産物安全課）」

（４）閉 会